

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成30年度取組結果】

団体名	ひびき灘開発株式会社
-----	------------

所管課	港湾空港局 総務課
-----	-----------

<p>団体に対するミッション</p> <p>会社の設立目的である廃棄物処分事業を通じた市民生活、企業の産業活動支援を長期安定的に継続する。</p> <p>また、市と連携を図りながら、ひびきコンテナターミナル後背地の特性を生かした、土地の利活用を推進する。</p> <p>さらには、これまでに培ったノウハウ（技術）の活用や、環境首都を目指す市の環境政策と連動した、資源循環・次世代エネルギー事業等への参画などを通して、響灘地区を中心とした北九州市の活性化に寄与する。</p>

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>平成21年度からの5ヵ年計画に基づき、長期安定的な廃棄物処分場の確保、港湾・物流機能の活性化、北九州市及び地域発展の貢献、経営体制の強化と自立した組織運営を基本方針として事業を遂行しており、引き続き、長期的に健全な経営を維持するよう取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画									
3~5年後に 目指す状態	主事業である産業廃棄物処分事業について、搬入量の安定的確保により健全経営を維持する。また、土地利活用の推進や新規事業の創造により、収益構造の強化と発展を目指す。								
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）								
	H28 実績	H29 実績	H30 目標 実績		R1 目標	R2 目標	R3 目標	R4 目標	
廃棄物搬入量の確保	26万トン	23万トン	23万トン	24万トン	次期中期経営計画の策定時に 設定				
分譲地の売却及び賃貸	10,503 万円	4,830 万円	14,900 万円	6,298 万円					
エコタウンセンター年間視察者数	91,407 人	101,796 人	10万人 以上	100,014 人					
響灘ビオトープ年間来場者数	18,224 人	20,312 人	20,000 人	16,061 人					

ミッションの遂行状況の評価（平成30年度）			
<p>団体における評価</p> <p>廃棄物処理事業においては、株主等を中心とした営業活動により目標量を達成した。指定管理事業であるエコタウンセンター及び響灘ビオトープについては台風や豪雨の影響による臨時休園、大型連休の天候不良等により集客の獲得が困難な状況が続き、響灘ビオトープの目標来場者数を達成することができなかった。分譲地の売却実績はなかったが、土地賃貸については継続的な営業活動の結果目標を上回る実績となった。</p>	<p>市の評価</p> <p>廃棄物搬入量は目標値を達成しており、企業の産業活動を支援する重要な役割を担っている。響灘ビオトープについては天候の影響が大きいため、来場者目標の未達成はやむを得ない側面がある。分譲地の売却実績は無かったものの、昨年度を上回る数値をあげており、ある程度評価できるものである。</p>	<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p> <p>廃棄物の搬入量減少が想定されるなか、営業強化による搬入量確保と経費の削減により安定経営に取り組む。北九州市と連携を図りながら風力発電産業のサプライヤー等を中心とした企業誘致を図り、土地の利活用推進につなげる。</p>	<p>団体への改善指導内容（案）</p> <p>引き続き積極的な営業活動を行っていくことで産業廃棄物の搬入量を安定的に確保することが必要である。また、市との連携を強化していくことで、分譲地の売却・賃貸を推し進めていくとともに、指定管理業務に代わる新たな収益の柱を確保していく取組みが求められる。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
<p>今後も産業廃棄物の搬入量は減少傾向が予想される中で、安定的な収入の確保に向けた営業強化及び経費削減に取り組んでいるところである。また、市の政策である「響灘地区におけるエネルギー関連産業の拠点化形成」と連携した企業誘致活動等を行うことで、長期的な健全経営維持に取り組んでいる。</p>	